

最優秀賞

お年寄りの力を借りて

渋川市立豊秋小学校 六年 谷 口 すみれ

今の日本は、平均じゅみょうが世界一です。2016年の統計では、男性が80・5才、女性が86・8才で過去最高です。長生きしているお年寄りがたくさんいるという社会になっています。

私のおばあちゃんは今年八十才になりますが、まだまだとても元気です。毎日散歩をしたり、テレビで健康に良いとせん伝しているものは、すぐ買ってきたりします。

私は三人兄弟ですが、おばあちゃんにたくさんめんどうを見てもらいました。両親が共働きなので、夕食の用意はいつもおばあちゃんがしてくれています。また、宿題を見てくれたりスイミングやピアノの送りむかえもずっとしてくれています。特にスイミングは、週に二回夕方四時位からだったので、おばあちゃんがいなかったら、習うことができなかったと思います。お父さんやお母さんも、「三人が泳げるようになったのは、おばあちゃんのおかげだよ。」とよく言っています。それを聞くと私は、

「おばあちゃんがいてよかったな。」
と思います。

私は、おばあちゃんのように元気なお年寄りが周りにたくさんいるなら、もっと活やくしてもらったらいいと思います。

例えば、夏休みのラジオ体操そうです。お父さんやお母さんが子どものところは、毎朝あったそうですが、わたしの地域では、今は夏休みの最後の一週間だけです。それは、育成会の役員の方が仕事をし

ていたり、中心になる高学年の人たちも用事があつたりして毎日は大変ということらしいです。それならば、地域のお年寄りの方に協力してもらって、みんなで毎日ラジオ体操をしたらいいと思います。お年寄り子どもたちの交流もできて、一石二鳥だと思います。

他にも夏休み中、親が仕事で子どもだけになつてしまふ家などは、地域の住民センターなどを開けて、いつでも自由に利用できるようにしたらいいと思います。そしてお年寄りから昔話を聞いたり、おりがみやトランプなどで一緒に遊んだり、コミュニケーションの場をつくると楽しいと思います。

このように、お年寄りと私たちが一緒に取り組める活動を増やしていくことが長じゅ社会をいきいきとさせる方法の一つだと思います。そして、みんなで助け合いながら生きていく世の中にしていきたいと思います。